



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和3年4月28日

第2号



「この発表をして、みんなの好きなことや共通点を知れ、みんなが自分のことを知ってくれるのがうれしいから楽しいクラスになると思いました。」

校長 神田 敏之

5年生の学級開きで友達にインタビューをして、それをみんなに紹介するという活動をしました。その人の得意なことや自分と似ているところなどを発表しました。発表が終わった後に書いたふりかえりを紹介します。

- ・みんなの得意なことや苦手なことが知れたのでよかったです。ぼくと得意なことや苦手なことが同じ人がいたのでびっくりしました。あまり知らなかった友達のことがたくさん知れたのでみんなすごいなと思いました。
- ・クラスの人を知れました。そして好きな遊びが同じおにごっこの人が多かったので今後みんなでおにごっこをしたいと思いました。発表するときに工夫ができなかったので次は、工夫して発表したいと思いました。
- ・ぼくが発表で工夫したところは声を大きく出したことです。けれど紙ばかり見てしまって、聞いている人の方を向けなかったので次はできるようにしたいです。
- ・発表する前は、「こんな感じで言おう」と決めていたけれど、前に出たら全部わからなくなってしまったので次に何か発表するときには気を付けたいです。

紹介の内容だけでなく、発表の仕方や次の機会にこのようにしたいという内容が書かれています。

学校の活動の中では、めあてを立て、ふりかえりをすることをしています。めあてを立てるときには、できるだけ具体的な内容にします。そうすることにより、それができたのか、できなかったのか、自分のことを客観的にふりかえる（メタ認知といいます）ことができます。めあてに対してどうであったのかを考えることにより、次の活動時のめあてが明確になっていきます。めあて（目標）は、立てて終わりではなく常にふりかえりをし、見直していきます。大人の世界ではPDCAサイクルを回すとも言われています。

学習の仕方や内容の理解度を自分でふりかえり次にどのようにしていくかを考えられるようにしていきます。自主学習もその一環です。趣旨をご理解いただき、寄り添い、励ましていただきたいと思います。

